

「治療と仕事の両立支援」

導入セミナーの開催案内

「病気になっても仕事を辞めないで！」

日時 平成31年1月29日（火） 開場 13:00

場所 千葉県文化会館 小ホール

参加費
無料

13:30 主催者あいさつ（千葉労働局長挨拶）

13:40～ 「治療と仕事の両立支援」ガイドラインの説明

14:00 千葉労働局労働基準部健康安全課

14:00～ 企業における「治療と仕事の両立支援」の取組

14:30 三井化学株式会社袖ヶ浦センター健康管理室

保健師 楠本真理 先生

14:30～ 病院の立場からの「治療と仕事の両立支援」の取組

15:00 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

がん相談統括専門職 坂本はと恵 先生

（休憩）

15:10～ 基調講演

16:30 独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院

治療就労両立支援部長（医師） 草塩 公彦 先生

<主催> 千葉県地域両立支援推進チーム（チームリーダー 千葉労働局長）

<チーム構成員> 千葉労働局／千葉県／日本労働組合総連合会千葉県連合会／（一社）千葉県経営者協会／（一社）千葉県商工会議所連合会／千葉県中小企業団体中央会／千葉県商工会連合会／（公社）千葉県医師会／国立研究開発法人国立がん研究センター東病院／独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院／独立行政法人労働者健康安全機構千葉産業保健総合支援センター／千葉県社会保険労務士会／日本医療社会福祉協会／（一社）日本産業カウンセラー協会東関東支部／特定非営利活動法人日本キャリア開発協会／（公社）千葉県労働基準協会連合会

現在、労働人口の3人に一人（約2,000万人）が何らかの疾病を抱えながら働いています。労働安全衛生法で義務付けている定期健康診断でも、脳・心臓疾患につながるリスクのある血圧や血中脂質などの有所見率は年々増加をしています。

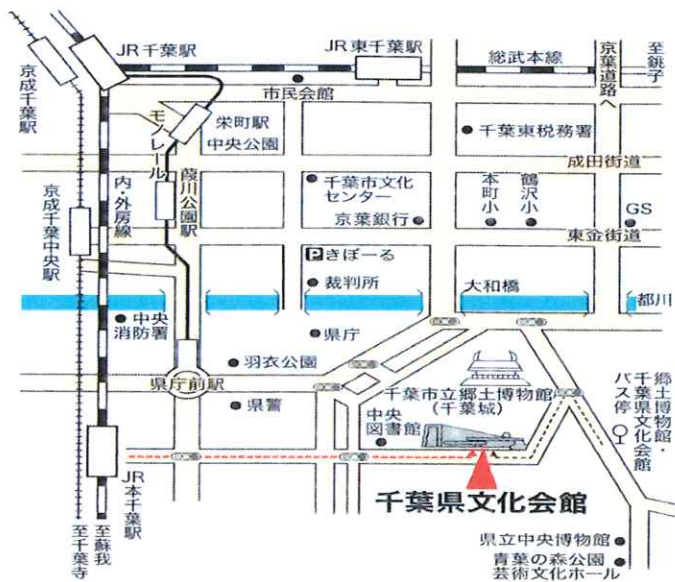
一方、近年の診断技術や治療方法の進歩により、かつての「不治の病」とされていた疾病においても「長く付き合う病気」に変化しつつある状況です。

そのような状況の中、疾病を抱える労働者の中には、働く意欲や能力があっても、通院をはじめとする治療と仕事の両立を可能にする体制やとりくみが不十分なために、就労の継続や復職が困難になる場合も少なくありません。

総務省の発表では、今後50年間で約4,000万人の人口が減少すると予想されており、これから、ますます働く人口が減少していく中で貴重な労働力を失うことは、企業にとっても大きな損失といえ、病気を抱える労働者が活躍できる環境を整備することがとても大事と考え、治療と仕事を両立するためのセミナーを開催することとなりました。

治療を必要とする労働者、それを支える病院や企業のトップ及び産業保健スタッフ等多くの方にこのセミナーに出席をいただき、よりよい労働環境の改善・構築の一助となればと考えております。

千葉県地域両立支援推進チーム



【交通案内】

JRご利用の場合

JR本千葉駅下車徒歩10分

京成電鉄ご利用の場合

京成千葉中央駅下車徒歩20分

千葉都市モノレールご利用の場合

千葉都市モノレール県庁前駅下車徒歩7分

京成バスご利用の場合（JR千葉駅より）

郷土博物館・千葉県文化会館前下車徒歩2分

申込書【治療と仕事の両立支援導入セミナー】 FAX 043-221-6868

事業場名			
所在地			
電話		F A X	
出席者 職氏名	(部課・職名)	(氏名)	